



特集

この地域を考える

将棋教えてもらったよ。

7月11日、本原小学校でふれあい伝承広場が行われ、3、4年生が地区のお年寄りから、将棋や五目ならべ、お手玉、あやとり、おはじき、こま回し、パッチンなど昔からある遊びを教えてもらいました。

この地域を考える

特集



平日朝の下原交差点手前。通勤、通学など多くの自動車や自転車が町外へと向かう。

町は合併協議をするにあたり、新しいまちづくりや、町の将来を、この地域がどうあつて欲しいのか、住民皆さんの声をいただき、一緒に考えてもらうため、100人委員会で話合っていたら来てきた。そして、国の進める改革が行われ、現在の町のかたちを維持した場合、どうなるのか、財政面からの予測も行った。今月は、今までの話合いと、町の財政予測をもとに100人委員会の皆さんと町長に話合っていた。

100人委員会で 多い意見、話合い から思うことは

町長 今日には町民の皆さんに、合併のことや、町でつくりました行財政シミュレーションなど考えていただくため、座談会をしたいと思えます。自由なご意見をお願いします。

芳沢 それでは最初に、100人委員会で町のこと、地域のこと、合併のことなど委員の皆さんに真剣に話合ってい

ただきましたが、印象に残る意見、また多くの委員の方が感じていることや、不安に思うことなどお話をください。

渡辺 新市将来構想策定委員で他の市町村の人たちと話し、なによりも真田町が他の市町村に比べて1歩も2歩も前進していることの多さに改めて感心しました。これは今まで私たちが生活していて気付かなかったこと、あたりまえに思っていたことが、他の市町村ではかなり遅れていることで、この真田町を誇りに思い、これからもこれを維持できるようにして欲しい。そ

時期という感じはします。

心配されることは、中心部へとかく主な施設だとか行つてしまつて、周辺部がさびれてしまうことで、特に傍陽地区の皆さんと話をしたときに心配している方が多いです。

今までは困ったことがあれば気軽に何でも行政へお願いしてきて、本来自分たちでやるべきことまで、お願いしていた部分があるんでそれを反

税金が上がるとか、そういう問題については、委員の皆さん心配しているところです。堀内 先ほど渡辺さんが言われたように、住民の方は自分たちで地域づくりをしてきたという自負があつて、合併協議してもわかるとおり、真田はだいたい進んでいる部分もあつて、町への愛着心は強いと思うんです。そんなことで、やはり自立する方向で考える

特集 この地域を 考える

ういう気持ち強く持ちました。合併ありきという周りからの意見が多かつたんですが、合併ということには、真田町に住んでいる人は私も含めて大半が反対ではないかと思つたんです。けれども、だんだん勉強して、色々な説明を聞くにつけ、私たちはいいとしても、私たちの子ども孫の代になつたときに、非常に悔いを残す問題になつてしまふ。そう気がつきました。合併ありきではないけれど、合併するならば、前向きに取り組まなければ住民の方たちにも申し訳ないと思ひ、真剣に取り組んできました。要望するならば、真田町という名前を、是非残していきたい。これは多くの人が望んでいることだと思ひますよね。

塩沢 やはり分権型合併と言つても、中央の方に集中して、私たちとか、武石とか、そういうところは目が行き届かなくなるのではないかという心配の声がよく聞かれました。

だから、いまひとつ合併について考えていかれないというか、進んでいかれないというところがありました。それから町全体が、合併について情報不足というか、自分たちの問題としてまだまだ皆が真剣に考えていないのではないかと、特に強く感じました。私自身も少しずつ合併について勉強する機会を得て、町のことを知れたことは、自分の財産だと思ひています。坂口 それぞれの委員の皆さんが色々な角度から十人十色のご意見を聞かせていただいて、なるほど町のことを考えているなということが印象に残りました。そして今まで行政に全ておまかせしてきたことが、この100人委員会で、自ら考えていくという自立の精神的な面が芽生えてきたという感じを強く持ちます。合併問題については、しようがしまいが、現在の段階を乗りこるためには、全住民が力を合わせていかなければ乗りこ

れないという意見が多かつたと思ひます。たしかに細かい問題は、色々あつて欲しい、こうして欲しいというご意見があるわけですが、その反面自分たちもなにかをしなければいけないのではと、そういう方向が出てきたことがとても良かったと思ひます。





芳沢孝夫／よしざわたかお 情報政策課長



塩沢憲子さん／しおざわのりこ 100人委員・福祉教育部会



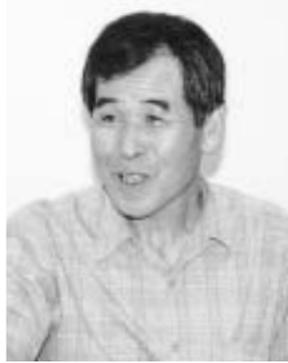
堀内昭一さん／ほりうちしょういち 100人委員・産業部会



清水淑江さん／しみずよしえ 100人委員・住民生活部会



渡辺猛さん／わたなべたけし 100人委員会副委員長・福祉教育部会長



坂口益次さん／さかぐちますじ 100人委員会副委員長・住民生活部会長



清水三喜夫さん／しみずみきお 100人委員会委員長・産業部会長



箱山好猷／はこやまよしのり 真田町長

自立した場合の町の行財政予測を見て思うことは

芳沢 先日、町の行財政シミュレーションをお渡ししました。これは町が自立の道を選択した場合どうなるか予測したもので、国の行財政改革が進んだ場合、地方交付税は減り、町では歳入が、歳入を上回る事態が予測されています。これについてどう考えるかお聞きしたいと思います。

清水三喜夫 タウンウォッチングで各市町村を回って、箱物が多いという感じを受けました。これは今まで住民が、箱物を作らなければいい市町村長ではないという見方をしていた、そのことがそうさせたと思います。これからは、余分なものは作らないという感じで財政を運営しても、交付税が減れば無理なわけで、これからは、住民が色々願っている、その住民の意見に満足できる答えは難しいんじゃないかと考えています。

清水淑江 今まで広報などで歳入歳出とか書かれていたんですが、なにかひとごとのような感じで、よく見たことが

省しなければいけないなど、100人委員会を通じて感じました。

議員定数に関して合併した場合、真田からは、人口比率から全体の10分の1くらいしか出せない点で、地域づくりをやっていくときに、行政の中で声が通らない部分が多いんじゃないかと。上田よりも真田町は面積が広いですから、議員数をもう少し増やすなり工夫をして欲しいと、そんな感じがしました。

先日、前の田無市の市長さんの講演会がありました。3回くらい合併に挑戦して3度目によく保谷市と田無市で合併になったそうです。その中で半数以上の住民の合意がなければ見送るということを言っていました。住民の声を聞いていかないと、仮に無理して合併しても、しこりが後々まで続いてまちづくりへの協力が得られない可能性もあると思います。そのところ充分住民の声を聞いて欲しいと感じます。

清水淑江 私は真田町が大好きな人間なので、真田町の良さがこのまま是非残って欲しいと思います。新市将来構想策定委員会に出て気付いたこ

とは、一つのことについても、市町村によって扱いが違うということを感じました。また100人委員会では、どうしても、合併をするということと中心部から離れてしまうので、取り残されてしまうのではないかと、それが心配だということとを、何人かの人から言われました。

それから、自分の町で出したごみは、ある程度自分の町で受け入れなければいけないけれども、真田町は水源地があるの、それを汚染して欲しくない、水源地近くの植林とか整備というような水源保全にも力を入れて欲しいという意見が部会で出されました。

清水三喜夫 新市将来構想策

なかつたです。今回委員になつたおかげで、資料を見たときに、自主財源は40%しかなく、残りは地方交付税などでまかなわれていて、これが減つたら大変だということを知りましたし、それに少子高齢化で税金を払う人がどんどん減っている。そして入ってくるものが少なくなり、破綻してしまう。そうなる前ににか手立てをつくさなければいけないと強く感じました。

それから、若いお母さんたちと話したときに、合併をして、学校給食がセンター方式になるなら、絶対に反対だと言っていました。今の給食の良さを続けられるように、今ある施設をそのまま使うんだから、そういうのは残して欲しいと話していました。あと福祉の面で、乳幼児の医療の無料化がどうなるのかということとを皆不安に思っています。町の財政の数字がはつきり目に見えてこないというか、一般の人には分からないというところで、不安を感じる人が多いのではないかと思います。

堀内 合併の話は、国の700兆円の赤字をなんとかする国もその赤字を急激に減らす

特集 **この地域を考える**

定委員会の副委員長というところで、6月30日に策定委員会に、真田町の100人委員会の意見を提出しました。そのとき、真田町では、各区3名の皆さんが選ばれて、100人委員会というものをつくりましたという話をしました。すると、ある委員さんから、真田町はきめ細かな委員会をつくりましたねと言われました。これは各区3名というのは、非常に良かったのではないかなと思います。

合併については、100人委員会に入り、自分で考え、勉強し、新聞など他市町村の合併問題等読みましたが、本当に今の時代、大変な国、県、また町も大変な財政の苦勞があり、合併しなければやっていけないのではという気持ちです。地域の皆さんからも、合併しないでいければいいという話もいただきましたが、合併対策室の皆さんも広報などを通じて情報提供しているので、勉強しながら、また町民の皆さんと話合つて、この先いきたいと感じています。

町長 一昨年の10月から私、全集落を回りまして皆さんと話合つ中で、住民の声はどのようにして反映するのかとい

ために、アメ玉とムチでなんとかしようということだと思ふんです。国の方針に無理もあり、試行錯誤の一案だと思ふんです。国の地方制度調査会あるいは総務省の一部、自民党の一部が考えたことで、合併について国自体にはつきりした大義名分は無く、あやふやな部分もあると思ふんです。ですから、合併は後戻りできない選択で、慎重に考えるのが当然で、今回見送つてもいづれ時期がくれば、できるんじゃないですか。

財政に関しては全国どこの市町村も合併したから財政が改善されるというわけではないですよ。行財政シミュレーションの最後に、合併しないで自立するために考えられるメニュー案として、住民負担の増額と、歳入の削減をするために保育園の民営化とか7、8個でありますが、この

豊かな自然に恵まれた町内には、大小14ヶ所の水源地があり、水道水は全てわき水や井戸水が使われている。



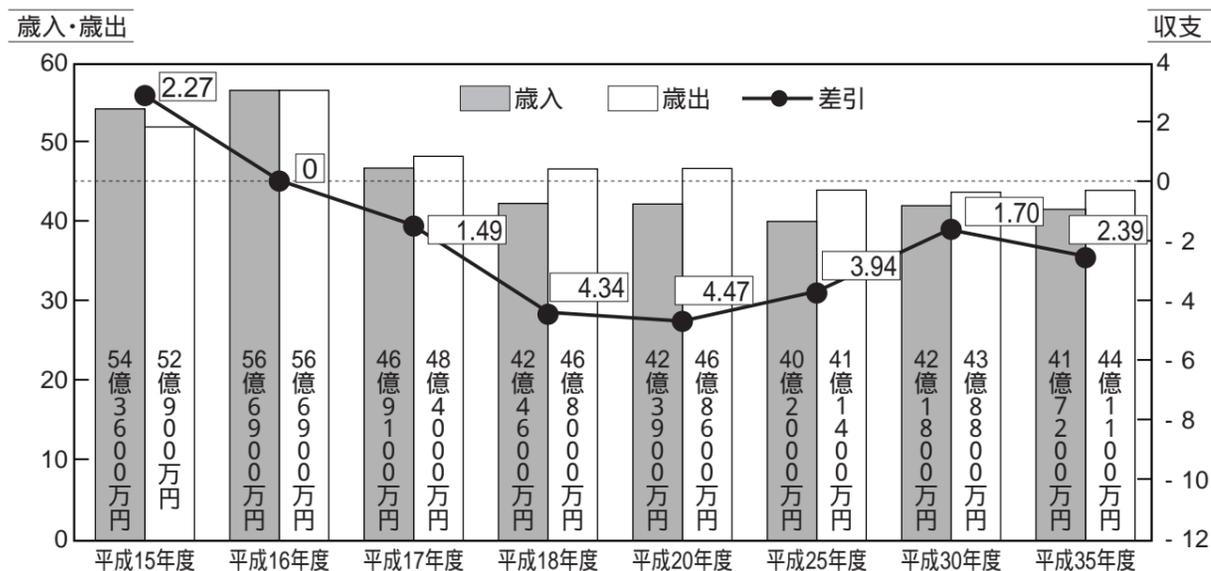
うご質問をいただく中で、できれば、一つの区から3人くらいの方、100人くらいの方をお願いして、住民の声として色々ご意見をいただきました。本当に住民皆様の生の声をいただくのは、ありがたいことだと思います。この会がなければ、どう住民の声を反映するのか、お伺いするのかわけですが、皆さん熱心にご審議いただいで、もつと会をやるうという前向きな気持ちで会を開いていただきました。今後も、集落をまわつてお話を伺ったりはしますが、委員の皆さんにはさらに住民皆さんの声を代わして、これから、する、しないは別にして、合併について色んなことを進めていく際や、町の将来についても声をいたしていきたいと思ふます。

新しい市ができるということとは、住民が主体となつて、地域づくりをしなければならぬという時代ですので、さらに皆さんの力、活動が地域の人に評価され、地域の人たちが自分たちも、という声になればと思つています。

点に関して、合併すれば学校給食の委託もせずに、今の自校給食でいけるのか、あるいは職員の削減はしなくてもいいのか、事業に対する受益者負担はいままでと同じなのかと、考えると、このメニューにでているものは、合併しても必要な事項がたくさん載つていてと思うんです。ですから、合併すれば住民の負担が増えることもあるんで、それを充分住民の皆さんに考えていた、これを真に受けて、合併すればこういふことは無いという印象を持つてしまうと、合併したのに約束が違うということになると思うんです。だから合併しても、しなくても、これからは700兆円の国の赤字を減らすためには、ある程度必要なものからやっていくということとを、付け加えないといけない感じがするんです。

町の行財政将来シミュレーション（財政予測）

（単位：億円）



町は、合併しない場合の、町の財政状況について、今年2月に県が発表した市町村自律研究報告書、いわゆる「長野モデル」を基に、平成35年までの、歳入面の予測に応じた4パターンの歳入歳出の試算を行いました。

現行制度踏襲型は、現行の交付税制度を基にしたもの。中間型は、国の三位一体改革が行われた場合で2パターン。最厳型は、三位一体改革が行われてより厳しく交付税が減少した場合です。上のグラフは中間型で、4パターン中最も現実性の高いものと思われる。結果は、現行制度踏襲型以外は、全て平成17年度以降の収支は赤字になります。

推計条件は、過去の平均値や人口予測を加味し、歳出の人件費は推計期間中に22人削減して、普通建設事業費は、平成9～13年度の平均の半分で推計しています。

現在の町の普通会計の予算規模は53億円前後で、歳入総額の40%、22億円は地方交付税です。国の改革が進行し、町が自立を選択した場合、各種住民サービスの低下と負担増にも踏込んだ改革の必要性が予想されます。

兆円ですが、全国3190の市町村の中で、もらっていないのは100余りの市町村だけです。これは国税5税と違って5つの税金から分けていくわけです。ところが税金が減り、国税5税で10兆少しで、あとは借金をして配っているわけで、もうこれ以上はできないというのが、現実です。そして段階補正と言って小さいところほどたくさん交付税を配っていたんです。上田が一人当たり5万8千円くらい。そして真田町が19万円くらい、和田村は55万円くらいです。ですからそんなことはとてもやっていけないということになってきたんですね。国がなぜ合併を進めているかというと、例えば、私はこう考えるんです。父親はたくさん金をもらって、子どもは東京でそれぞれ好きなところを借りて、父親が全部お金を出していたとします。父親も金がなくなってきたら、これからは一緒に住んでくれと。そうすれば風呂や洗濯機も一つでいいので、一つの家で共同生活してくれと言っているのと同じではないかと感じています。

塩沢 100人委員会でも、政府がまだ確定したものを示さないのに進んでいることや、先がよく見えないことに不安を感じているという意見が多かったです。それで、こんな数字の大きいものではなくて、本当にわかり易いシミュレーションが示されると、町の財政とか、国の財政とかがこんなに緊迫しているんだなっていうのが、よく分かると思います。そうすれば、これからどうしたらいいのかということが、考えられるんじゃないかと思えます。タウンウォッチングして他市町村を見ると、真田町は福祉とか教育面で、行政が力を入れていることが、よく分かっています。もし合併したら、それを落とすことなく、続けていただき

特集 この地域を考える

たいということが、皆さんの意見です。私もそう思います。それから、私は体育指導員という立場で、最近行政からの援助を待つのではなく、自分たちが参加料や加入金を出し、企画運営をして、自分たちでスポーツを楽しむという方向の総合型スポーツクラブということが始まっています。これからは自分たちでやっていかないと色々な行事とできないのではと感じています。

渡辺 このシミュレーションの中間型パターンが、だいたい標準になると思うんですけど、歳入歳出の赤字を住民一人当たりで計算すると、平成20年頃で、年間4万円くらいになります。これを実際に働いている人たちが、払える人たちに、割り振ると、8万円程度になるかと思うんです。例えば、今の負担にプラスしてそれだけの金額を負担して自立することが、皆の理解を得られるかを考えると、合併ありきではないやだという感情論ではなくて、将来にわたっての理解も是非必要だと思っ

町長 今堀内さんが言われたとおり国、地方合わせて700兆円の借金を抱えていますね。小泉総理が国債の発行は30兆円以下に抑えると言っていました。36兆の借金を返しているのは、元金だけでは7兆どのくらいしか返さないわけです。36兆借りて7兆しか返さないで、借金が増えるばかりで、なんとかしなければいけないのが現状です。ただ合併したから楽になるわけではないけれども、合併しなかつたら大変なことになるだろうと言うのが、学者たちの見方ですね。合併したからどんなサービスをといることはできないけれども、最小限度のサービスをどのようにして持続していくか、必要なサービスを止めないで続けていくにはどうしたらいいか考えるわけです。

職員は200人以上減らせません。松本の議員は34人ですが、上小は8市町村で142人います。市町村長も減ります。ですから合理化をして福祉などどうしても必要なお金にまわさなければならぬという考え方です。

坂口 この市町村も財政は厳しいわけです。ただ、その前段階で、もっと中央の役人で行革をして、地方を生かす政策をとれなかったのかと思います。地方交付税が今までのように出せなくなると地方だけに責任を負わせているという考えを一番持っています。

2点目に自立と合併という問題ですが、結局自分たちも高負担しなければいけない時代が来たかなという感じはします。我々一人一人にしてみればサービスは高く、負担はしたくない。そのへん日本は今まで世界の中で斜め上がり



6月21日に100人委員会では、町内各所を回るタウンウォッチングを行い、町についての認識を深めた。

です。しかもそれだけ負担したとしても現状を維持するよいうなサービスは行えないということを知って、考えていた方がいいと思います。

芳沢 先ほど塩沢さんご意見の中に、国がまだ方向が固まらない中、合併を論議しているんだけれども、国の方針が決まってからでも遅くはないのではというご意見があったんですけれどもそのへんについて町長はどうでしょうか。

町長 皆さんご存知のとおり、国の地方制度調査会などでも確定したものは出ておりませんが、全部が決まってからではもう間に合わないんです。今のうちに予測をして、最悪の場合はこうなる、いい場合はこうなる、その中でどうするかということを考えて

いかなければいけないと思っています。平成17年の3月が合併特例法の期限です。今は対等合併ですが、17年3月を過ぎてしまえば、吸収合併になるかもしれません。そうなれば、現在の町の良さを新市に生かせなくなります。ですから、今の時期に準備を進めているわけです。

堀内 先程、町長さん合併しなければいけない状況を父親と子供の例で言っていたんですが、本当にその例えは分かり易いなと思うんです。ただそのとき、いきなり一緒に住めと言われても、子どもとしても、それは知らなかった、それなら節約して月に10万円もらっていたところを、7万か8万で自立して過ごして見てください。でももう少し待って

かと思いを言うと思うんですね。今回の場合いきなり700兆円の借金があると言われて、そこまでもってこられても、子供としてはちよっと戸惑っているところがある。現状だろうと思うんですね。

町長 そうですね、私も平成10年の4月1日に広域連合を作り、そしてまあその先で合併も出てくるが、10年間くらいは広域連合でやっていけるかなと思っていました。ただ、平成10年ころから国は進めてはいたんですね、ところが、我々が気付かないでいて、法律の期限が近づいてきて、そして全国でこういう状況になったんですね。それから考えてみますと、国も景気回復すれば、税収も上がって、なんとかできると思っただけで、できなくてこうなってしまうということじゃないか

と思いますね。

将来に渡ってこの地域がどうあって欲しいか

芳沢 合併ということを契機に住民の皆さんがこの地域のことについて、多くのことを話合ってきていただいているが、今までの1000人委員会の話し合いをもとに、将来に渡ってこの地域がどうあってほしいか意見をお願いします。**坂口** 現在の真田町に住んで安心していたというか、いいところだなと思って、愛着を持っていたゆえに、これを伸ばしていくこと、失ってはならないという考えが多かったという感じはします。



いるので、過疎になる可能性があるんじゃないかと思うんですけれども、過疎になったときに、それをマイナスと思うんじゃないかと、生かしていけたらいいなと思っています。里山の整備ですとか、農業体験を通しての都市との交流というふうな、過疎をプラスの財産として生かしていけたらと思っています。



そして、あと何十年か経ったときに、今ある4つの小学校と、2つの中学校が、いつのまにか消えてしまったというところのないよう、何年経っても今ある小中学校が残っていて欲しいと、本当に強く思っています。

堀内 私も農業やっている関係で、特に感じることは、これから先ずっと自然豊かで、緑に恵まれたのかな町であって欲しいと思っています。先日塩田のほうに行きましたが、松枯れが広がっていました。以前の塩田盆地は、本当に緑豊かで、いいところだなと思ってたんですけど、もう少し行政で手を打って、松くい虫防除をできなかったのかなということを感じたわけですね。小さなことが、大きなことにつながりますので、

つくれる町になって、新市になってもいければ、素晴らしいことかなと思います。

ただ、人真似で、苦しきだけで合併するのは、夢も希望もないわけで、それをどう皆で考えていくかということころ、そんなまちづくりができればなと思っています。

塩沢 真田町の福祉は、高齢者とか障害者に対してとてもよく行き届いているし、グループホームとか、託老所とかもあって、高齢になっても地元で暮らせて、ここに住んでいてよかったなと思えるような環境になりつつあると思っています。

だから、真田町がどうかたちになるうとも、子供たちが自分のふるさととして誇れる、外にでも自分のふるさとがあるんだと、そんな思いが真田につながるような、ふるさとをつくっていききたいと思っています。

そして、子供たちがいつも元気で学び、スポーツなどがんばって、はつらつとしている、そんな生き生きとした町になればいいと思っています。

渡辺 現在の真田町は、他市町村より進んでいる面が非常

に多いわけで、これができるだけ維持するようにして欲しいですね。

そして、中央から離れたところの意見が伝わりにくいということも、新市将来構想策定委員会や、1000人委員会でも話合っただけです。そのときに、小学校を単位とした一つの自治を目指して、その中から皆さんの意見を吸い上げていくと、住民一人一人の意見を吸い上げるには、小学校単位くらいが、一番適当じゃないかという話がありました。

分権型合併といいますが、皆の意見を吸い上げる構造をつくるのがとても大事だと思っただけです。そのへんを私は大きく期待しています。そして真田町の良さをその中にとりこんでいくやり方が、合併する場合には、是非必要だと思っただけです。このことは、新市将来構想策定委員会でも何度も力を込めて言ってきました。

清水三喜夫 私もこれから、小さな輪よりも大きな輪という思いで、隣の町も自分たちの町も協力し合って、真田町の全体で生活等を考え、良いところは残していくことが大切だと思います。また行

います。

私は、県下を歩いてみましたけれども、真田町ほどいいところは無いと思っています。この良さを皆さんと一緒に伸ばして、子どもたちもいふるさとだなと思えるような、と同時にこれから住むならば、真田町のような豊かな自然の中で過ごそうと思っただけで、そんなまちづくりを皆さん

編集室からひと言

住民主体の新しい地域づくりの方向性が始まっているのでは…

今月は、1000人委員会の話し合いをもとに委員の皆さんと町長に語っていただきました。そこでは、合併で大きな市になり行政の目が行き届かなくなるのではなど心配されることや、国がすすめる補助金や、地方交付税の改革が進んだ場合、将来は財政的にかなり厳しい状況が、町の行財政シミュレーションからは予想されること。そして町の将来をどう考えるかについて語っていただきました。

とともに、すすめたいと思います。ですから、もっとコミユニティの力を大きくしてやっていくということが、やがて何年か先に良かったなと思えるんじゃないでしょうか。こういうことは、人が評価するのではなく、歴史的な評価になってきますので、そういうことを皆さんとともに進めていきたいと思います。

ただ、豊かな自然に恵まれたこの地域に愛着を持って、将来の世代に町の良さを引継ぎ、この地域が活気ある地域であって欲しいというのは、皆さんの願いだと思います。そのため、自分たちの地域のことは、自分たちで考えよう、何かしてみようということ、1000人委員会を通じての、新しい方向性ではないかと思っただけです。この地域が将来の世代にも素晴らしい地域であるために、住民の皆さんが主体となり、行政と協力して地域づくりをしていくことが、これからより重要になってくるのではないのでしょうか。

特集

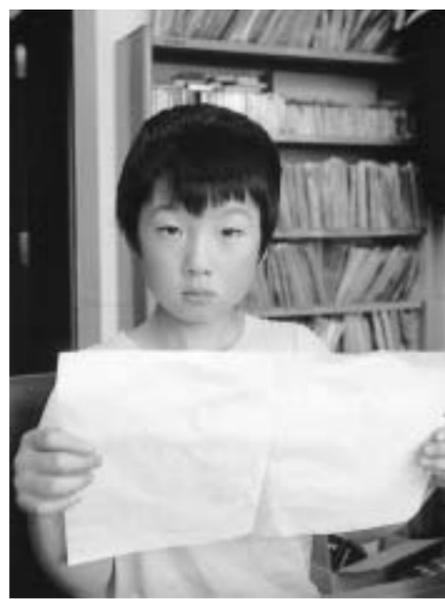
この地域を
考える

長野県有線放送 小学生放送 コンクール

7月23日、長野県情報ネットワーク協会が主催する「小学生放送コンクール」東信地区大会が行われました。この大会は自分で書いた作文を録音して出品し、内容や読み方などが審査されるものです。

同コンクールには、町内の各小学校から出品された25点の作品の中から、4点が出品されました。いずれも、子どもたちの素直な気持ちや表現されたすばらしい作品ばかりでした。なお、町の審査会で選ばれた4点は、低学年の部が小林千洋くん(傍陽小3年)と宮島卓渡くん(長小2年)、高学年の部は、丸山大馬くん(傍陽小6年)と傳田翁玖くん(菅平小4年)の作品でした。そして、東信大会では小林くんが優秀賞を受賞し、県大会へ出品されました。また、宮島くんと丸山くん、傳田くんがそれぞれ優良賞を受賞しました。

町の有線放送では、8月1



小林千洋(こばやし・ちひろ)くん。一緒に歩いて学校へよう友だちとの作文。

日から12日まで出品された小学生25人の作品を紹介しします。どうぞ、お楽しみに！

子どもたちが、 作文で素直な 気持ちを表現。

テーマは、「わたし(ぼく)の友だち」。町から4点を東信大会へ出品し、小林千洋くんの作品が県大会へ。

(東信大会優秀賞)
傍陽小学校3年 小林千洋

ぼくの友だちは、まさゆきくんです。まさゆきくんは、ぼくと同じ入軽井沢の友だち

です。まさゆきくんはけんかをすることがあります。でも「けんかをやるほど仲がいい」というから、「きつとぼくたちは、本当に仲がいいんだな」と思っています。

まさゆきくんとは、朝も帰りも一緒に歩いて学校へかよっています。入軽井沢は遠いので帰る時は、おしゃべりを

したり、棒で遊んだりして帰ります。先生におこられた日でもまさゆきくんが面白いことを言って笑わせてくれるので、いやな気持ちを忘れさせてくれます。そんなまさゆきくんがすごいと思います。

ぼくはそんなまさゆきくんがいいなあと思います。

8月11日(月)放送



宮島卓渡(みやじま・たくと)くん。野球教室でキャッチボールをする友だちとの作文。

(東信大会優良賞)
ぼくの友だち
長小学校2年 宮島卓渡

ぼくは2年生になって野球教室に入りました。野球教室には、ぼくの友だちのゆうたくんも入っています。

キャッチボールをしたとき、ゆうたくんは、ボールをいっぱい捕っていました。ゆうたくんが変なところに投げた捕れないときもあつたけど、ゆうたくんは一生懸命がんばっていました。

ゆうたくんは、ぼくの友だちだけど、野球教室では手か

げんしない。なぜかというところから。そして、巨人に入ること、ゆうたくんも巨人に入ることが夢だから、手かげんとかはしません。

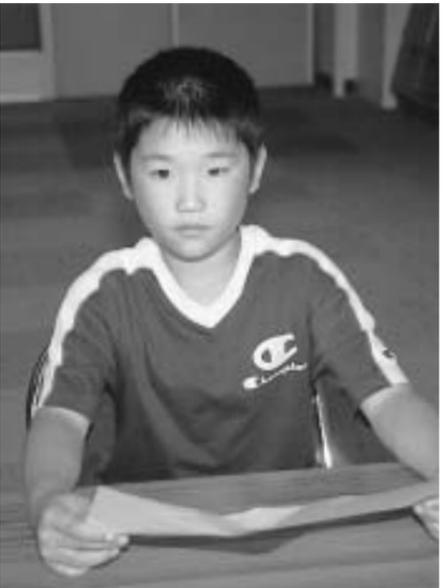
これからも、うんとかんばって、バッティングやキャッチボールを、もつとまわりたいです。ゆうたくんと一緒にキャッチボールをがんばります。

8月3日(日)放送

学者になるために石を集めたり、自分で本を買って、石の種類や成分を調べたりしていることを話してくれました。

ぼくは、将来のことなんて考えたこともなかったのですが、つくりしました。たつくは、自分の夢をしつかりもって、その夢に向けて真剣に、今いろいろなことを調べたりしていることを知って、「本当にすごいなあ」と思いました。

そんなたつくを見ていて、ぼくも、将来のことを考えるようになりました。自分の将来は、自分で決めなければいけません。ぼくも自分の興味のあるものや、得意なものを見つけて、自分の将来に就きたい職業を決めていきたいなと思います。そして、たつくとお互いに将来のことについて



傳田翁玖(でんだ・としひさ)くん。たまに、けんかもあるけど、それが友だちという。

話し合えたらいいなあと思いましたが、こんな気持ちにさせてくれた、たつく、ありがとう。

8月12日(火)放送

(東信大会優良賞)
ぼくの友だち
菅平小学校4年 傳田翁玖

4年生の教室にはとてもいい友だちが10人もいます。大きい学校に比べてみると、とても人数が少ないと思う。でも友だちがいるっていうことは、とてもうれしいことだ。だって友だちが一人もいないと遊べない、話せない、

つまらない。とてもくらい人になつてしまふ。

友だちが一人でもいると心があたたかくなって、遊べる、話せる、うれしくなる。

だから友だちはとても大切なんだ。だからこのクラスにいる友だちだつて、ちつとも少なくなかない。友だちが一人いるだけでも、けつして少なくなかない。

泣いていたりすると、すぐなぐさめてくれるし、一緒に笑つたりもする。だから友だちはとてもやさしい。たまにけんかもする。でもそれが友だち。

世界には友だちのいない人がいる。だから世界中の人と友だちになりたい。

8月2日(土)放送



丸山大馬(まるやま・だいま)くん。将来のことを、友だちを通じて考えたという。

有線放送で25人の 作品を紹介します。放送予定日

放送日	学校・学年	氏名
8月1日(金)	菅平小学校2年	中沢 真緒
	3年	田中 芙羽
2日(土)	4年	傳田 翁玖
	5年	河崎 りこ
3日(日)	6年	鶴岡 悠子
	長小学校2年	宮島 卓渡
4日(月)	3年	堀内 綾
	4年	久保 温美
5日(火)	5年	滝沢かおり
	6年	坂口奈緒子
6日(水)	本原小学校2年	田中慎太郎
	2年	小野沢美里
7日(木)	3年	香山 雄哉
	3年	一本鎗有咲
8日(金)	4年	三浦由美子
	4年	吉田 真子
9日(土)	5年	若林 隼斗
	5年	堀 正江
10日(日)	6年	横沢 光彦
	6年	山浦 由佳
11日(月)	傍陽小学校2年	間島りいん
	3年	小林 千洋
12日(火)	4年	佐々木美緒
	5年	坂口 達哉
	6年	丸山 大馬

☆放送時間 夕方6時～
再放送 朝7時20(土日15)分～

カメラニュース

町の中の様々な出来事や話題をお届けしています。
(このコーナーでは、皆さんから寄せられた写真を一部掲載しています)

劇団現代座の真田町公演で 文化会館が満員に



6月22日に文化会館で劇団現代座の公演「虹の立つ海」が行われ、600人ほどの人が公演を楽しみました。

「虹の立つ海」は、地球環境を考えること。そしてそこに親子の絆も織り交ぜた演劇で、三重和音2003という町内在住者や、通勤者でつくるサークルが開催しました。実行委員長の佐納良裕さん(赤井)は、「スタッフ皆が一生懸命やってきました。多くの方が興味や関心を持って来てくれて、よかったです」と話していました。

町原の江住和雄さんが 春の叙勲で旭日小綬章を授章



この春の叙勲で、町原区の江住和雄さんが、勳四等旭日小綬章を授章しました。江住さんは、昭和29年に農

本の馬鈴薯生産農家の生産性向上に貢献したことが評価されたと思います」と話していました。

林水産省に勤めてから36年間、全国各地の馬鈴薯原産農場で病気のない種芋の生産配布一筋に尽力した功績が認められての授章になりました。

原産農場は日本の種芋の一番の元を生産しているところで、江住さんは、「日

菅平の観光について 菅平小中学校で講演会

7月16日、菅平小中学校の体育館で第2回の菅平公演会が行われ、児童生徒たちが菅平の観光について、菅平高原観光協会理事長小島好憲さん(菅平)から菅平の観光について話を聞きました。

この講演会は総合的な学習の時間で行われたもので、今年5回予定され、菅平の農業や観光、歴史、文化、スキーなどについて地元の方などが講師になって児童生徒に講演するものです。



当日は昭和5年にハynes・シユナイダー氏が菅平を訪れた際の貴重なフィルムも上映され、菅平中学校3年の須郷正美さんは、「菅平の知らない歴史が知れ、奥深いものを感じました」とお礼を述べていました。

7月5日と6日にサニアパーク菅平で、第5回全国不惑クラブラグビーフットボール交流試合が開催されました。不惑クラブは40歳以上の人で構成され、(財)日本ラグビーフットボール協会に登録され



たチームで、全国から20チームが参加しました。5日に行われた代表者会議では、長野県ラグビーフットボール協会の宮下修治副会長(菅平)から「サニアパーク菅平のオープンのとかが第1

サニアパーク菅平で 40歳以上のラグビー交流試合

回大会でした。この大会がいつまでも続くよう願っています」とあいさつがありました。メイングラウンド第1試合に不惑倶楽部(東京都)で出場した89歳の守田貞義さんは「ラグビーがおもしろくてたまりません。昭和8年からずっと続けていて、菅平には40年以上来ています」と話していました。

真田町農業支援センター総会で 農政の課題について講演会

7月8日、役場講堂で町内外の農業関係者が集まり、農業支援センターの平成15年度総会が行われました。

総会のあとには、「当面する農政の課題」として、日本農

業新聞編集局農政経済部次長細谷章さんの講演が行われ、食糧法改正による米の生産調整の改革と、WTOなどの国際情勢について、また国内の構造改革などの話があり、米について「基本的には市場原理の中の産地間競争になっていく」と話していました。

7月7日日本原児童館建設のための安全祈願祭が日本原保育園跡地で行われました。新しく建設される児童館は、木造平屋建て延べ面積が279.95㎡。玄関、ホール、児童クラブ室、創作活動室、多目的室、遊戯室、事務室などからなり、平成14年度から、PTA会長や、保育園連合保護者会役員、ふれあいの館館長などによる児童館建設研究委員会で施設のコンセプトをつくり、設計を進めてきたもので、今年中の完成を目指して工事が進められます。

本原児童館の 建設が始まる



7月8日、役場講堂で町内外の農業関係者が集まり、農業支援センターの平成15年度総会が行われました。

7月7日日本原児童館建設のための安全祈願祭が日本原保育園跡地で行われました。新しく建設される児童館は、木造平屋建て延べ面積が279.95㎡。玄関、ホール、児童クラブ室、創作活動室、多目的室、遊戯室、事務室などからなり、平成14年度から、PTA会長や、保育園連合保護者会役員、ふれあいの館館長などによる児童館建設研究委員会で施設のコンセプトをつくり、設計を進めてきたもので、今年中の完成を目指して工事が進められます。



明日の地域づくりのために (30)

今年の大会は、オーストラリア人の消防団員トロイ・ビードさん(出早)も出場した。ビードさんは日本で唯一の外国人消防団員。

町のポンプ操法大会で 大畑部が平成12年 以来の優勝

6月22日に、洗馬川運動公園グラウンドで、第39回真田町ポンプ操法大会が開かれ、消防団員が、小型ポンプを使って放水し、タイムや技術など日ごろの練習成果を競い合いました。

今年には昨年より1チーム多い21チームがエントリーした大会では、大畑部が第36回大会以来の優勝を飾りました。また今年、真田町在住のオーストラリア人の消防団員トロイ・ビードさん(出早)が上原部(写真)で出場し、多くの消防団員が注目するなか、操法を行い、消防団員から拍手が送られていました。

なお、優勝した大畑部と準優勝の大日向部は、7月13日に長門町の長門小学校グラウンドで行われた上小地区大会に出場し、6位と7位の成績を納めました。

また同日行われたラッパ吹奏大会に出場した団体の部は10位に、個人の部では佐藤論征さん(真田部)が6位に、高寺治彦さん(竹室部)が16位になりました。

真田町ポンプ操法大会結果
優勝／大畑部、準優勝／大日向部、3位／荒井部、4位／中原部、5位／横道部、6位／菅平部

簡単いか御飯

(6～7人分の材料)

- 米……………3合
- イカ……………2杯
- 油……………少々
- (A) 醤油…大さじ4 砂糖…小さじ3 酒…少々 みりん…大さじ3



北海道のイカめしをヒントに子どもがたべやすいようにと考えました。おばあちゃんや子どもも大好きです。
滝沢亜美さん(石舟)

(つくり方)

- ①米はあらかじめ硬めに炊きます。イカをよく洗い2.5cm位に切ります。イカ足も切ります。
- ②フライパンに油をひき、イカを炒め(A)の調味料を加え、中火で10分煮つめます。味付けは少し濃い目に。
- ③熱いうちに炊き上がったごはん^{ごはんに}にイカを混ぜ合わせます。汁も少し加えると味がしみておいしいです。
- ④器に盛って、きざみのりをふりかけて、できあがりです。イカの量が少なければ、油揚げなど入れてもいいです。ただし、煮込みすぎるとしょっぱくなるので注意してください。



あの人を訪ねて ④8

問題の芽が小さなうちに摘んでいければいいかなと思います。

井沢きい子さん (萩)

人権擁護委員

7月1日付けで、井沢きい子さん(萩)が、人権擁護委員に委嘱されました。同委員は法務大臣から委嘱されますが、町内ではほかに清水啓一さん(荒井)と坂口末男さん(千林寺)、池田貢さん(菅平)が務めます。

井沢さんは、小山ひろ子さん(大庭)の後任にあたりますが、今年6月の議会と同委員への推薦が承認されました。人権擁護委員は、毎月25日に行われる町の心配ごと悩みごと相談でも4人の委員が交代で相談にあたりま

す。

昨年12月までは、町の健康推進員会長を務めていた井沢さんですが、7月8日に上田の法務局で委嘱状の交付をうけて、「委員の重

いざわ きいこ●7月1日に法務省の人権擁護委員に委嘱された。毎月25日の悩みごと心配ごと相談に交代である。

こんには 読者です

29

このコーナーでは、広報に寄せられた意見について考えます。皆さんのご意見をお待ちしています。



答

本当に見事なバラでした。

と言われます。広報でこんな話題も取り上げてもらえないでしょうか。

声をいただいたのは、上原区の飯島秀一さんで、20年ほど前に買ったバラをさし木などで増やして現在のバラのアーチまで育てたそうです。昨年は、ネット上で一般投票して決めるガーデニングコンテストで、グランプリも受賞したそうです。本当に見事なバラのアーチでした。

今月は、自宅の玄関前に見事なバラのアーチを作ったという声をご紹介します。

声

バラのアーチが咲きました。

うちの玄関前のツルバラのアーチが咲きました。アーチも自分で作ったものです。私の家は通り沿いにあるので、知らない人にも、ああ、あのバラのアーチの家ですか



記録に挑戦!

真田町陸上記録会開かれる



風を切ってゴールへ



遠くまでとべ!

7月12日(日)、サニアパーク菅平陸上競技場において、第18回真田町陸上記録会が開催されました。高原のすがすがしい天候の中延べ300人の小中学生と、15人の一般参加者が記録に挑戦しました。今年、新種目にソフトボール投げが加わり、大会が盛り上がりました。大会新記録17をはじめ、好記録が続出しました。

- 主な大会結果は次のとおりです。
- 100m中学生女子 14秒19
 - 三井あかり(真田中)
 - 100m中学男子 12秒51
 - 堀 翔平(菅平中)
 - 1000m小5男子 3分28秒11
 - 新村聡真(本原小)
 - 1000m小6男子 3分14秒01
 - 滝沢慎太郎(本原小)

インターハイ出場決まる!

6月21日、富山県総合公園陸上競技場で行なわれた、北信越高校総合体育大会陸上競技3000m障害走で、津端広輝君(菅平、中野実高校)が4位(9分20秒69)に入賞。7月29日から8月2日まで、長崎市で開催される全国高校総合体育大会陸上競技大会に出場することになりました。活躍が期待されます。

- ソフトボール投げ
- 小1女 大久保苑香(長) 13m31cm
 - 小2女 大澤 映穂(本) 10m90cm
 - 小3女 大平 真由(菅) 19m05cm
 - 小4女 若林 志歩(本) 20m67cm
 - 小5女 半田 詩織(傍) 36m50cm
 - 小6女 久保 萌菜(長) 25m12cm
 - 中学女 久保 亜弓(真) 34m49cm
 - 小1男 岩下 諒(傍) 16m91cm
 - 小2男 依田 大樹(本) 25m93cm
 - 小3男 酒井 雅俊(菅) 31m76cm
 - 小4男 一本鎗 駿(本) 30m87cm
 - 小5男 横沢 侑也(本) 39m10cm
 - 小6男 大熊 貴法(長) 48m55cm

参加者募集

スポーツフェスティバル

第2回スポーツフェスティバルを開催します。子どもから高齢者まで誰もが楽しく参加できる、スポーツレクリエーションや、軽スポーツを中心とした競技種目があります。種目により、親子で、友だちで、個人、クラスなどで応募し、参加することができます。大勢の皆さんの参加をお待ちしています。

開催日 9月14日(日)

場所 町民体育館、運動公園グラウンド、真田中体育館他体育施設

集合時間 午前8時30分

募集期間 8月4日(月) から9月3日(水) まで

競技種目

- ・パスパスRUN ・ソフトバレー
- ・ふわっとテニス ・キンボール
- ・グラウンドゴルフ ・バタック
- ・さわやかウォーク他

実技講習会の開催

8月8日(金)午後7時30分から町民体育館において、ニュースポーツのやさしいバタック、少しハードなキンボールの実技講習会を開催いたします。大勢の皆さん講習に参加して、スポーツフェスティバルで挑戦してみませんか。

大会結果

マレットゴルフ大会

6月19日(木)、お屋敷公園マレットゴルフ場において、第29回真田町マレットゴルフ大会が開催されました。大会の結果は次のとおりです。

- 優勝 堀内芳孝(田中)
- 準優勝 浅野直樹(下郷沢)
- 第3位 鈴木義一(横尾)

家庭婦人バレーボール大会

6月22日(日)、町民体育館において、第29回真田町家庭婦人バレーボール大会が開催されました。大会の結果は次のとおりです。

- 優勝 菅平
- 準優勝 町原
- 第3位 下原、曲尾

真田町町民ゴルフ大会

6月29日(日)、菅平高原カントリークラブにおいて、真田町町民ゴルフ大会が開催されました。姉妹町の九度山町からは、町長以下大勢の皆さんが参加しました。また、東京真田町の会の皆さんも大勢参加しました。大会の主な結果は次のとおりです。

- 優勝 小林憲明(つくし)
- 準優勝 大井 浩(大畑)
- 第3位 徳山幸雄(出早)
- ベストグロ賞 徳山幸雄73(37、36)

親子で学んだ算数・数学

公民館家庭教育講座を開講

7月13日(日)、町の文化会館において、公民館家庭教育講座を開講しました。

この日は、信州大学出前講座のご協力をいただき、同校教育学部教授



大学の先生とは思えない親しみやすい口調で講義を進める吉田教授

の吉田稔先生に「親子で学ぶ算数・数学」と題し、苦手な算数を楽しく学ぶためのコツ、数学を勉強する本当の意味についてお聞きしました。参加した親子は全部で10組ほどでしたが、2時間近くの講義を、退屈もせず最後まで熱心に聴講しました。吉田先生によると、「算数の能力を伸ばすためには、恥ずかしがらずに、自分の考えを発言することが大切だ」ということです。そして、「友だちの発言がたとえ間違っても、決して笑ってはいけません。むしろ、どうして友だちは間違えてしまったのか考えてみるのが大事である。」とのことお話ししました。算数を学ぶ楽しさ、奥深さを堪能した1日でした。

「相田みつを展」開催にともないボランティアを募集します

10月18日(土)から11月3日(月)にかけて、町の文化会館において「相田みつを展」を開催します。

書家であり詩人でもある相田みつをは、大正13年に栃木県足利市に生まれました。平成3年、67歳で他界するまで、人間の弱さや醜さを見つめ、魂のうつろしや崇高さを謳い、やさしい数々の言葉の中に、あたたかな息吹を吹き込みました。今回はそれらの作品の中から、70



文化協会加盟サークルの活動状況を紹介します

今月から、シリーズで、町の文化協会に加盟されているサークルの活動状況についてご紹介します。記事を読まれて、一緒に活動してみたいと思われた方は、代表者にご相談ください。



◇真田町郷土史研究会
会長 花岡陸人(大庭区・有線4334)

先人の足跡を探求
昭和57年に「真田氏発祥の郷」における先人たちの歴史の探求を志す仲間たちが相寄り、郷土史研究家・久保浩美氏の主宰により当会が発足して22年、県内外の真田氏ゆかりの各地を訪ね、郷土の歴史・文化・風土を精力的に視察し、生涯学習の研鑽に励んでおります。

現在会員は75名、各地への「視察研修」や「講演会」を年3回行うほか、「古文書」及び「真田町誌・歴史編」の勉強会を年間30回ほど開催するなど、活発な活動を展開しております。また、町からの要請を受けて、県内外からの来訪団への史跡ガイドも勤めております。

歴史に興味をお持ちの方、わたしたちと一緒に活動してみませんか。お待ちしております。

ふるさとを歩こう

町の公民館学級では、「ふるさとを歩く」と題し、毎月1回、地域の里山や集落内を歩いていきます。

シリーズ4回目になる今回は、松尾古城及び角間溪谷を探索する予定です。ふるさとをめぐると小さな旅に、皆さんもいつしよに出かけてみませんか。

日時 8月31日(日)午前8時〜
集合 角間区内(現地集合)
※事前に係までお申し込み下さい。

保育ニーズ調査へ ご協力

県では、今後の保育施策を進める基礎資料とするため、子育てへの要望などについて「保育ニーズ調査」を行いますので、ご協力をお願いします。

対象者 子育て中の方、終わった方、関心のある方

調査期間 7月下旬～8月20日(水)まで

調査用紙 市町村保育担当窓口、児童館、子育て支援センター等にあり。または、県公式ホームページからも出力できます。

問い合わせ・回答方法

県青少年家庭課 〒380-8570 (住所記載不要) ☎026-235-7099 Fax 026-235-7390 までFaxか、郵送で。

国保で入院時の食事代の 軽減を受けるには申請を

国民健康保険では、入院時の食事代の一部を加入者が、残りを保険で負担しています。住民税非課税世帯の方は食事代が軽減される制度があります。制度を受けるには申請が必要です。

問い合わせ 国保年金係
有線2058 ☎72-0154

老人保健で減額を 受けるには申請を

老人保健対象の方は、8月以後の受診について前年所得により新たに負担割合が判定され、うち住民税非課税世帯の方は、申請すると低所得Ⅰ、Ⅱに適用区分が変更

され「限度額適用・標準負担額減額認定証」が発行されます。これを病院窓口で提示すると、入院時の食事代の標準負担額が減額されたり、高額医療費の自己負担限度額が下がります。なお7月まで低所得Ⅰ、Ⅱに認定されていた方も申請が必要です。

問い合わせ 国保年金係
有線2058 ☎72-0154

エアロビクス教室に ご参加ください

運動不足、ストレス解消にエアロビクスをしませんか。毎週は無理という方、小さい子どもがいる方、もちろん独身女性も大歓迎！お気軽にご参加ください。

日程 夜の部(午後7時～8時) 8月7日(木) 8月21日(木) 8月28日(木) 以後毎週木曜日
昼の部(午前10時～11時) 8月9日(土) 8月23日(土) 以後月2回土曜日予定

場所 本原小学校体育館(変更になることがあります)
持ち物・服装など 飲み物、タオル、運動できる服装、スポーツシューズ、レッスン料1回500円
問い合わせ 小林由里
☎72-5530

8月31日(日)に各区で 地震総合防災訓練

大正12年9月1日に発生した関東大震災を教訓に、全国で地震防災訓練が行われます。町では今年各区の自主防災組織により、避難訓練、消火訓練など、区毎に内容を決めて実施していただく予定です。防災訓練へ参加して、地域の防災意識を高めましょう。

訓練日時 8月31日(日) 午前8時～9時まで
問い合わせ 真田消防署
有線2009 ☎72-0119

8月1日～31日は 夏の地域安全運動

夏休みを利用して、出かける機会が増える時期。でも、忘れてはならないのが防犯です。戸締まりや車のドアロックなどに心がけ、被害にあわないようにしましょう。真田町の被害(今年1月～5月) ・侵入盗(空き巣など)4件 ・乗り物盗4件 ・非侵入盗(車上狙い、置き引きなど)56件

問い合わせ 上小防犯協会連合会
☎22-0110

ごみ問題を考える講演会と パネルディスカッション

地域のごみ問題を考える講演会とパネルディスカッションを開催します。ごみの排出抑制、資源化等を行いどこまで減らせるか、最適なごみ処理方法は何か考えます。
日時・場所 8月24日(日) 午後1時30分～4時 上田創造館
内容 講演会 講師 日本環境衛生センター 藤吉秀昭さん
パネルディスカッション
問い合わせ 上田地域広域連合
ごみ処理広域化推進室
☎23-2104

スイス国ダボス町へ 行ってみませんか

町の姉妹町ダボス町を親善訪問する参加者を募集します。スイス国の文化にふれたり、ダボス町との親睦を深め、両町の交流の絆を深めましょう。

訪問期間 10月5日(日)～12日(日)までの8日間
訪問先 ダボス町及びスイス国内
募集人数 約20名程度
参加費 25～30万円(予定)
応募締め切り 8月22日(金)
問い合わせ 観光商工係
有線2042 ☎72-2204

支障草木の伐採に ご協力ください

道路敷の中に雑草木が張り出したままになっていると、通行の支障になるばかりか、交通事故につながる危険もあります。

個人の所有地から道路に張り出した雑草木の、土地所有者の伐採にご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ 建設係
有線2083 ☎72-4331

夏の遊びを楽しもう いずみ幼稚園で公開保育

小さなお子さんをもつ皆さん、誘い合ってご参加ください。

日時 8月27日(水) 午前10時～11時30分

場所 いずみ幼稚園(横尾)
内容 プール遊び、砂場遊び、シャボン玉、英語教室参観、おやつ
持ち物 水着・着がえ・タオル・帽子

問い合わせ いずみ幼稚園
有線3798 ☎72-2262

お盆のし尿の くみ取りはお早めに

毎年、お盆前にはし尿のくみ取りが集中します。早めのくみ取りに、ご協力ください。

予約の受付 8月8日(金)まで
休業 8月13日(水)～17日(日)
問い合わせ 真田清掃社
有線2391 ☎72-2607

消防団員の家の 表札を配りました

町では地域の防災活動などに日頃から貢献する消防団員の家の表札を配りました。消防団への入団、活動などに協力をお願いします。
問い合わせ 真田消防署
有線2009 ☎72-0119

消費生活大学の 受講者募集

消費者問題などを学習する、消費生活大学が開講されます。

期間 11月～1月まで週1回程度、時間は午前10時～午後3時

場所 上田消費生活センター
受講資格 消費者問題に関心をお持ちの20歳以上の県内居住者

受講内容 消費者問題、消費者行政、経済知識、生活知識、生活設計、法律知識など(受講料無料)
締め切り 9月19日(金)
問い合わせ 生活環境係
有線2046 ☎72-2204

男女共同参画に関する 意見を募集します

県では昨年度制定された「長野県男女共同参画社会づくり条例」に基づき、改正を予定する県男女共同参画計画に皆さんのご意見を募集します。

募集期限 9月5日(金)
応募方法・問い合わせ 郵送、Fax Eメールで応募ください。〒380-8570(住所記載不要) Fax 026-235-7389 Eメール danjo@pref.nagano.jp
県男女共同参画課
☎026-235-7102

乳幼児健康診査と 予防接種

(8月6日～9月5日)
乳児健診 8月26日(火) 午後1時15分～40分受付、

場所/保健センター、
対象/14年10月、15年1・4月生まれ

乳児整形外科検診・離乳食教室
9月2日(火) 午後1時15分～40分受付、

対象/15年4～6月生まれ
三種混合 6～8月、
場所/本原医院・小林医院



対象/初回は14年9月～15年2月生まれ・追加は13年3～8月生まれ
麻疹 9月、
場所/本原医院・小林医院
対象/14年3～8月生まれ
問い合わせ 保健センター
有線2053 ☎72-9007

行政相談、心配ごと相談

日時 8月25日(月) 午前9時～正午
場所 福祉センター
問い合わせ 行政係
有線2011 ☎72-2201
または社会福祉協議会
有線2091 ☎72-2998

福祉医療費制度の 変更内容をお知らせします

●6月以前の受診分は平成17年6月末日までに

給付方式の変更について先月号でお知らせしましたが、経過措置として、平成15年6月以前の受診分については、平成17年6月までの申請が対象になりますので、早めに申請書を提出してください。

●所得制限の内容

毎年7月1日現在で前年の所得金額を基準に支給対象となるかどうか決定されます。基準は、それぞれ、下の表以上の所得の方は、対象外となります。

なお、今年支給対象となった方にも、ならなかった方にも、毎年度福祉医療費申請書を送りますのでご提出ください。

乳幼児

(単位：円)

扶養親族等の数	配偶者及び扶養義務者 (国保加入者)	配偶者及び扶養義務者 (厚生年金等の加入者)
0人	3,010,000	4,600,000
1人	3,390,000	4,980,000
2人	3,770,000	5,360,000
3人	4,150,000	5,740,000

障害者

(単位：円)

扶養親族等の数	本人(超えた場合)	配偶者及び扶養義務者
0人	3,604,000	6,287,000
1人	3,984,000	6,536,000
2人	4,364,000	6,749,000
3人	4,744,000	6,962,000

母子家庭及び父子家庭

(単位：円)

扶養親族等の数	本人	配偶者及び扶養義務者
0人	1,920,000	2,360,000
1人	2,300,000	2,740,000
2人	2,680,000	3,120,000
3人	3,060,000	3,500,000

※3表とも老人控除対象配偶者、老人扶養親族がある場合は、該当者1人につき上記金額に60,000円が加算されます。

65歳から70歳未満の独り暮らしの方

この区分は廃止になります。ただし、現在独り暮らしで受給資格のある方は、引き続き資格があり、68歳から69歳の方は現行どおりです。

問い合わせ 福祉係 有線2022 ☎72-2203

町の台所事情を お知らせします 平成14年度決算概況

厳しい財政状況が続く中で、平成14年度町では、継続事業の拡充と、知恵を出し合い共に汗を流す地域づくり活動重視の事業を積極的に実施しました。

このほど、その決算の概況がまとまりましたので、お知らせします。なお決算概況は9月議会で審議され、認定をうけることになります。

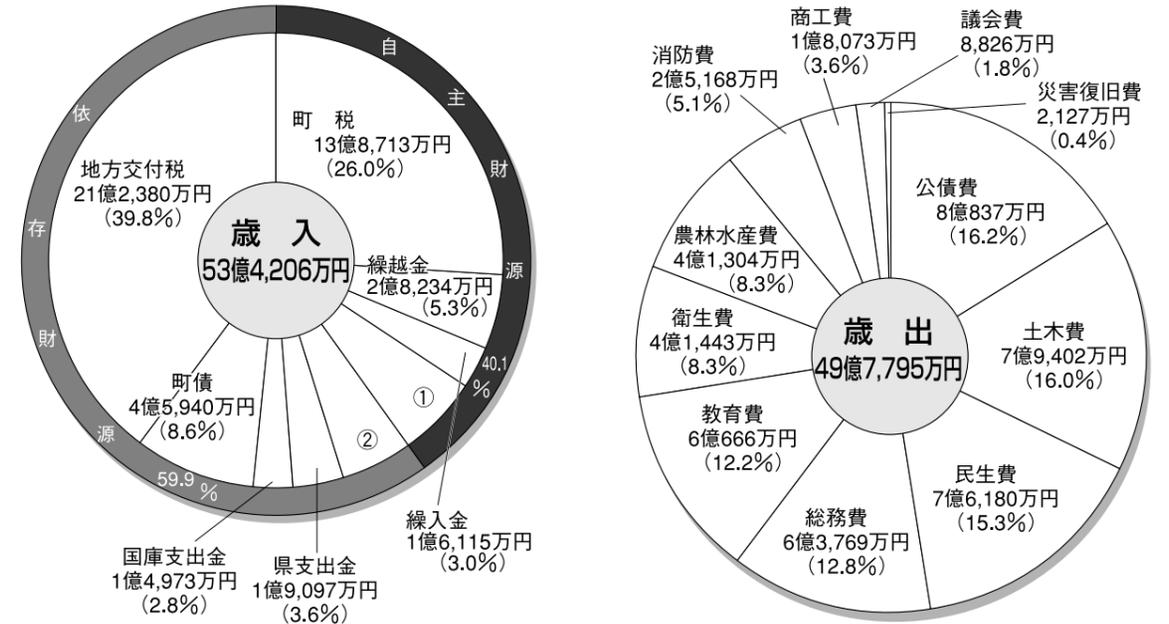
一般会計の歳入は 前年比8.6%の減少

平成14年度の一般会計の決算見込額は、歳入が53億4206万円となり、前年度に比べて8.6%の減少となりました。これは、金額にすると5億280万円の減少となっています。

なお前年度と比較して増加したのは県支出金と地方譲与税で、その他の項目は全て減少しています。

県支出金は長野県知事選挙委託金や、森林空間総合整備事業関係補助金が増加したことによるもので、率では4.4%、金額では809万円の増額となりました。地方譲与税は制度改正により増加しました。一方大幅に減少したのは、地方交付税で、次に国庫補助金、町税です。

地方交付税は段階補正の見直しと、臨時財政対策債への振替により率では5.4%金額では1億2145万円減少しました。歳入に占める割合が最も高いのは地方交付税で、続いて町税、町債となっています。町税は、前年度に比べ金額で、8064万円、率にして5.5%の減少となっています。なお町民一人当たり約11万7400円の町税を納めたこととなります。



歳入グラフ①の内訳

使用料手数料	1億1061万円 (2.1%)
分担金及び負担金	8605万円 (1.6%)
諸収入・財産収入・寄付金	1億1414万円 (2.1%)
歳入グラフ②の内訳	
地方消費税交付金	9129万円 (1.7%)
地方譲与税	8304万円 (1.6%)
利子割交付金ほか	1億241万円 (1.8%)

歳出は10.5% 約5億8458万円の減少

一般会計の歳出決算見込額は49億7795万円です。町民一人当たり約42万1400円が使われたこととなります。前年度との比較では、金額で約5億8458万円、率では10.5%の減少となりました。減少の主な理由は、全国中学校スキー大会関連事業、中山間地域総合整備事業の土地取得等が終了したためです。

個々の増減を見ると、大きく増加したものは、土木費と衛生費です。土木費は、地方特定道路整備

事業として川久保荒井線の整備、例年に比べて降雪日が多かったことによる除雪費の増加などで前年度と比べ16.4%、1億1207万円の増額となりました。

衛生費は、小型合併処理浄化槽設置増による補助金の増加、水道起債償還補助金などで、前年より31.4%、9894万円の増加となっています。その一方で大きく減少したものは、教育費と農林水産業費です。教育費は、全国中学校

スキー大会関連事業分と菅平小学校建設工事の終了などで46.0%、5億1760万円の減少となりました。農林水産業費では、中山間地域総合整備事業の県負担金、農業集落排水事業特別会計への繰出金の減少により32.9%、2億241万円の減少となっています。

問い合わせ 財政係
有線2021 ☎72-2201

特別会計・公営企業会計の決算概況

特別会計	収入済額	支出済額
国民健康保険	7億4,408万円	6億9,069万円
老人保健	11億4,827万円	11億3,759万円
介護保険	6億8,733万円	6億8,666万円
介護サービス事業	868万円	868万円
同和地区住宅新築資金等貸付事業	1,043万円	1,041万円
公共下水道事業	7億2,500万円	6億8,791万円
農業集落排水事業	1億8,621万円	1億8,389万円
集合支払	9,481万円	9,481万円
公営企業会計	収入済額	支出済額
真田町水道事業	2億2,204万円	2億0,185万円
菅平高原上水道事業	1億2,752万円	1億1,789万円
有線放送電話事業	7,309万円	5,098万円

公営企業会計は、収益的収支を掲載しました。

住基ネット2次サービスが 8月25日から始まります

住民票の広域交付

住基ネットを利用して全国の市区町村間で住民票の情報のやり取りができるようになることにより、全国どこの市区町村でも、住民基本台帳カード、運転免許証などを市区町村の窓口で提示することにより、本人や世帯の住民票の写し（戸籍の表示を省略したもの）の交付が受けられるようになります。

転入転出手続の簡素化

引越しの手続きで窓口に行くのは転入時1回だけで済みます。

現在、引越しの場合には、まず真田町に転出届を行い、転出証明書の交付を受けた上で、引越先の

市区町村に転入届を行う必要がありますが、住民基本台帳カードの交付を受けている場合は、確実な本人確認ができるため、一定の事項を記入した転出届を郵送で行い、住民基本台帳カードを引越先の市区町村の窓口で提示して転入届を行うことにより、引越の場合に窓口に行くのが転入時の1回だけで済むようになります。

住民基本台帳カードは

希望すれば住民基本台帳カードが交付されます。手数料は500円です。

◎住基ネットの本人確認に利用できます。

◎公的個人認証サービスの秘密

鍵、電子証明書の保存用カードとして利用できます。

◎写真付カード（希望による）は、公的な証明書として利用できます。（証明書用写真が必要です）

個人情報保護対策は

住民基本台帳ネットワークシステムでは、個人情報の保護を最も重要な課題と考え、制度面、技術面、運用面で十分な対策を行っています。

◎保有する情報や利用目的を法律で限定しています。

◎住民票コードは、利用が限定されています。

◎外部からの侵入と内部の不正利用を防止しています。

◎住民基本台帳カードは、個人情報を守るICカードです。

問い合わせ 町民係

有線2002 ☎72-0154

さなだ ゆうほう番組表 (8/6~9/5)

放送時間は、夕方6時30分～（再放送は翌朝6時～）の放送となります。
（おはなしの世界へ、学校・保育園だよりは夕方6時～）

日	曜	番組名	出演者
7	木	駐在所だより	／真田駐在所 丸山巡査
9	土	おはなしの世界へ「ともだちくるかな」	／おとぎの会 柳沢由美子さん
12	火	身近な税の話「財産を相続したとき」	／上田税務署
14	木	さなだ通信	／町内から
16	土	おはなしの世界へ「どんぐりとやまねこ」	／おとぎの会の皆さん
17	日	みんなの食生活「食べる健康ダイエット」	／保健センター 山崎栄養士
19	火	みんなの健康「子育てについて」	／大きくなあれ保育園 横沢節子園長
21	木	生活のしおり	／JA長支所 永井生活指導員
23	土	おはなしの世界へ「やまんばの木」	／おとぎの会 鎌田洋子さん
24	日	保育園だより「大きくなったね誕生会」	／そえひ保育園
26	火	農業アドバイス	／上小農業改良普及センター
28	木	暮らしの豆知識	／上田消費生活センター
30	土	おはなしの世界へ「おぶさりてえ」	／おとぎの会 宮下蘭子さん
31	日	学校だより「楽しかった海の学習」	／長小学校
2	火	庭木の管理	／造園協同組合 堀内久夫さん
4	木	ゴミの処理について	／生活環境係

☆有線放送に加入しました

○春原健二（下原）6261 ○小林重実（中原）5695

○青木智昭（横尾）3749

戸籍の窓

めざせ健康 日本一!

「両親からのメッセージ
伸び伸びと、
心豊かに育ってね！」



宮腰泰心くんとお母さん、お姉ちゃん

6月届け出分

♡いつまでもお幸せに

(笹平 忠雄 北御牧村
古畑 由香 大日向)

(須賀 弘幸 丸子町
羽毛田麻美 出 早)

(小林 隆之 丸子町
久保 恵 横 沢)

☆お誕生おめでとう

三井 歩稀 (啓 司 中 組
須磨子)

宮腰 泰心 (崇 昭 荒 井
ふみ子)

柳澤 琉生児 (博 昭 石 舟
江理奈)

牧村 優太 (松 二 四日市
純 子)

竹野井 蛍 (豊 中 組
美 保)

□ごめいふくをお祈りします

古畑より子 83 渋 沢
関口 隆 85 中横道
高寺 好成 79 竹 室
今川袈裟只 89 横 沢
大房 和枝 78 曲 尾
清水 國元 79 荒 井
堀内 兼雄 86 下横道

納税と使用料

9月1日(月)

- ・個人町県民税(普通徴収)
- ・国民健康保険税
- ・介護保険料(普通徴収)
- ・水道料金
- ・下水道料金
- ・農集排料金
- ・個別排水使用料
- ・保育料
- ・町営住宅使用料

宮下 忠子 94 中 原
正木千代江 90 菅 平
田中 忠雄 74 荒 井
北澤 あい 95 横 尾
三井 花子 87 菘
田中 安子 72 横 尾
小林 みね 94 菅 平

健康食品による健康被害を 防ぐために

～健康食品を購入する際の注意事項～

昨年から、健康食品の摂取によると疑われる非常に重い症状の健康被害(死亡、肝障害、甲状腺機能障害など)が多数発生しています。

こうした健康食品と称しているものの中には、原材料表示からは分からない成分を使用している製品があります。

健康食品は、医薬品と違い、効能効果について国から承認を得ているものではありませんから、表示や広告ができません。(保健機能食品は除きます)

健康食品を購入される際には、潜在的なリスクがある場合もありますので、被害の発生状況等が公表された製品名に十分注意してください。

健康食品を摂取されて、健康状態を害されたと思われる場合は、早期にお近くの医療機関や保健所等に相談してください。

相談先：上田保健所生活衛生課

☎25-7150

水道工事当番店

8月の水道工事
当番店です。

工事店名	月 日	8 月		
金井設備商会(株) ☎72-2118 有線 3356	*	4	17	30
(有)駒屋商店 ☎72-3696 有線 2373	*	5	18	31
(株)石 塚 ☎72-2898 有線 3310	*	6	19	*
(有)真田建設 ☎72-2019 有線 5430	*	7	20	*
石 巻 設 備 ☎73-2021 有線 4454	*	8	21	*
(有)長崎商店 ☎73-2511 有線 2368	*	9	22	*
(株)アサヒ興業 ☎72-3414 有線 5333	*	10	23	*
(有)ドーム管工 ☎72-0771 有線 4383	*	11	24	*
山崎設備工業(有) ☎73-2322 有線 4210	*	12	25	*
(有)信濃空調 ☎72-5706 有線 6249	*	13	26	*
若林設備工業所 ☎72-3166 有線 5332	1	14	27	*
イチノセ管工 ☎72-3000 有線 5216	2	15	28	*
浅間設備(株) ☎72-3938	3	16	29	*



真田中生徒が 総合的な学習の時間で 間伐作業を体験。

間伐作業は、倒す方向を決め、切り込みを入れて、反対側から切っていく。自分で切った木の切り口について説明を受ける生徒たち。

7月3日に真田中学校では、総合的な学習の時間として1日、生徒が様々な講座に別れて普段の授業とは違う学習をしました。

1年生は志賀高原キャンパスに向けて校庭で飯ごう炊さんの実習を行い、2・3年生は、町の史跡巡りや、河川の流域観察、町の方言や民話について話しを聞いたり、きのこ栽培

培農家訪問や、伝統料理の調理実習、姉妹都市交流について学習したり、町の行政、観光、スポーツ、人口、など役場で話を聞いたり、町のPRビデオの撮影や、森林体験などそれぞれの講座に分かれ学習をしました。

大日向の学校校林で間伐体験をしたグループは、NPO法人フォレスト工房もくりや、

森林組合の講師から人工林と天然林の違いや、間伐作業の注意など説明を受けたあと、腰の高さ以上ある笹をかき分けて林に入り、講師から教わりながら、手ノコを使ってカラマツの切倒しを行いました。40分ほどかけてカラマツを切倒した笹山淳君(2年生)は、「うまく切れてよかった」と話していました。

Town Topics AUGUST 2003

季節の中で

広報には、様々な情報が寄せられます。

真田中学校の「総合的な学習の時間」の話題は、情報通信員の田中悦子さん(中原)から提供していただきました。

また7月上旬に傍陽の洗馬川でホタルがたくさん飛んでいるという情報を役場内の広報委員からもらいました。写真撮影はできませんでしたが、萩や田中の洗馬川では多くのホタルが舞い、見物にきている人もいました。町内でこれだけまとまってホタルが見られるのは洗馬川だけではないでしょうか。(なべ)

インターネット情報
<http://www.sanada.or.jp/>
<http://www.town.sanada.nagano.jp/>

わたしたちの町の人口

総数	11,840人 (-9)
男	5,849人 (-5)
女	5,991人 (-4)
世帯数	3,764戸 (+10)

平成15年7月1日現在 ()内は前月比